

9月8日（月）の未明（日の出前）に、皆既月食が起きます。今回は日本列島全域を含め、東ヨーロッパから極東の北半球、アフリカ東部からニュージーランをまでの広範囲で観測できます。実は日食よりも月食のほうが起きる頻度はずっと低いのですが、日食（特に皆既日食）が非常に狭い範囲でしか観望できないのに対し、月食は世界中のおよそ半分の範囲で観望できます。ある特定の地点で、一生の間に見るチャンスが多いのは、日食よりも月食なのです。

今回の皆既月食は、9月8日（月）の未明に起きます。東京では、部分食の始めが午前1時26分、皆既が午前2時30分から3時53分、部分食の終わりが午前4時56分です。これは、ヒトが最も寝入っている時間帯なのです。しかも月曜日の未明なので、相当な覚悟がないと観望は難しいでしょう。

今回は観望が難しい！という方は、来年の2026年3月3日に夕方にもう一度皆既月食が起き、これも日本全国で見られますので、それを期待いたしましょう！

※今回配信の予想星図、シミュレーション動画は、複製、配布、投稿など、ご自由にご活用ください。

